

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	文化芸術振興事業（政策）						事業類型	負担金	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	市事業費助成型補助金等交付要綱
			10	04	03	07	政策経費		
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 地域文化の継承と創造						市民協働	市民主体	
	1 地域文化						担当課係等	生涯学習課	
③芸術・文化活動の推進								社会教育担当	
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 創作・発表意欲の向上、市民文化意識の高揚を図るため、文化団体及び愛好者育成及びその活動を支援する。	【関連事業】 ふれあい生涯学習フェア
【期待される効果】 市民の自主的な文化活動を支援しながら、豊かで彩のある文化を創造することができる。	【対象者】 文化協会及び加盟団体 文化芸術愛好者 市民
【全体概要】 文化団体を育成し、文化協会が実施する各種事業及び活動を支援する。また、文化団体及び芸術愛好者に情報を提供する。	【特記事項】 文化協会加盟団体や加盟人数の減少に伴い、その対策として28年度から新規会員募集のための文化団体主催講座の支援、働きかけや、公民館と連携して、当初からサークル化を目指した講座の開講に取り組んでいる。
【令和 2年度 事業内容】 文化協会への補助金交付と活動支援。文化団体及び文化芸術愛好者への展示、発表機会及び情報の提供。	【令和 3年度 事業内容】 文化協会への補助金交付と活動支援。文化団体及び文化芸術愛好者への展示、発表機会及び情報の提供。
【令和 4年度 事業内容】	

■ 事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	758	548	0
歳入計（千円）		758	548	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	18 負担金、補助及び交付金	758	548	0
歳出計（千円）（A）		758	548	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%)
職員人工数		0.20	0.22	0.00
職員人件費（B）		1,557	1,712	0
総事業費（A）＋（B）		2,315	2,260	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	文化協会加盟団体主催講座の開講団体数 会員数の減少を食い止めるため支援する。	団体	目標	20.00	20.00	0.00
			実績	9.00	8.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	文化協会加盟者数 前年比較増減	人	目標	50.00	50.00	0.00
			実績	-185.00	-70.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 生きがいつくり、仲間づくり、居場所づくりなど、その目的に応じて、自主的に活動する文化団体等の支援に取り組むことは、芸術・文化活動の推進に結びつく。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内ですばらしい芸術・文化に触れる機会を提供する必要がある。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 文化協会の自主的な活動が進む一方で、会員の高齢化、減少がある。サークル化を念頭に置いた講座等の開講などが必要である。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 文化活動の縮小により、市民が望む、生きがいつくり、仲間づくり、居場所づくりに影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 生涯学習市民協働事業や公民館活動事業等との連携が不可欠である。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 文化協会加盟団体及び会員数を拡充し、市民の意識の高揚と文化活動の振興を図るために削減はできない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 文化協会は、若年層を中心の団体から高齢者の多い団体などが加盟しており、今後も幅広い年代に加盟していただけるよう努めていく。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	文化協会加盟団体数や会員数が減少している傾向が見られる。今後、「マナビィかすみがうら」に文化団体の自主講座を掲載し支援していく。また、市内で活動する文化団体等、各種事業への支援は必要である。団体数や会員数の減少傾向について、さらにその原因を分析検討するとともに増加へと転じるため、SNS等を活用したサークル活動状況の情報発信など市民への情報提供を講じる必要がある。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：生涯学習課長 齋藤 健
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 文化協会加盟団体会員の高齢化に伴い会員数の減少が増えている。広報誌やホームページSNS等で団体活動状況の情報提供支援を引き続き行う。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 文化協会加盟団体会員の加入者増に向け、各種活動支援を引き続き行う。		